

第58回西日本高等学校土木教育研究会 教育長祝辞

平成30年8月9日（木）
にぎたつ会館

はじめに、先般の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

第58回西日本高等学校土木教育研究会の開催に当たり、一言お祝いを申し上げます。

本大会が、文部科学省の 持田 雄一 教科調査官様をはじめ、西日本の各県から、土木教育に携わっておられる多数の皆様のお出席を得て開催されますことを、大変ありがたく存じますとともに、御来県いただきました皆様方を心から歓迎申し上げます。

また、貴研究会においては、高等学校における土木系教育の向上、改善に御尽力いただきますとともに、本日、御参加いただいている各学校においても、地域産業界と連携しながら、地元企業に伝わる技術力を継承することのできる人材の育成に努めておられることに対しまして、深く敬意を表します。

さて、国においては、AI・IoT などにより第4次産業革命が到来している中で、AIを活用した i-Construction を推進するとともに、今年3月に告示された新高等学校学習指導要領においても、地域や社会の発展を担う職業人を育成するため、社会や産業の変化の状況を踏まえ、持続可能な社会の構築、情報化の一層の進展、グローバル化などに対応する視点から教育内容を改善することとしています。

本県においても、次代を担う地域産業のスペシャリストを育成するため、工業科設置の高等学校において、インターンシップや企業技術者等を学校に招へいする「匠の技教室」などを実施し、生徒たちの技能や資質の向上に努めているところです。

皆様方には、本日からの2日間、今後の土木教育の一層の充実・発展に向けて十分に研究を深められ、実り多い大会にしていただきますよう御期待申し上げます。

ここ松山は、日本最古といわれる道後温泉や松山城、近代俳句の祖 正岡子規の記念博物館など、多くの名所・旧跡を有する「いで湯と文学のまち」として知られておりますので、ぜひこの機会に愛媛の歴史や文化に触れていただければ幸いです。

終わりになりましたが、西日本高等学校土木教育研究会のますますの御発展と、御参会の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。